

学生の確保の見通し等を記載した書類

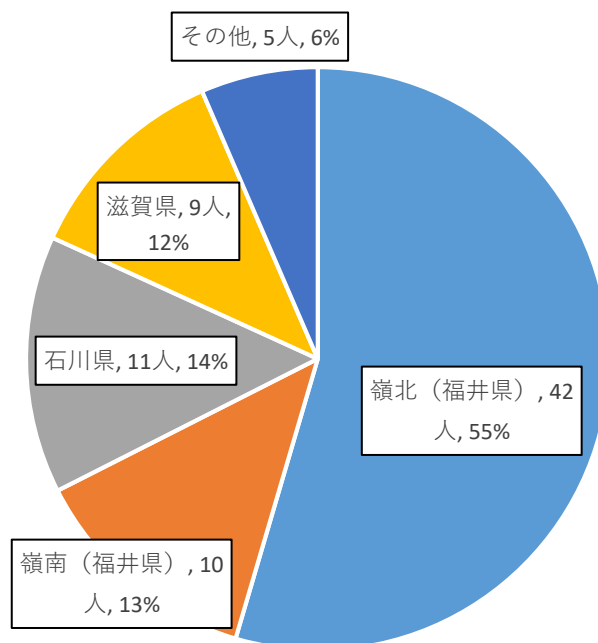
資料目次

- 資料 1 福井県立大学大学院 健康生活科学研究科博士後期課程（仮称・設置構想中）にかかるとアンケート調査について 調査結果
- 資料 2 福井県立大学大学院健康生活科学研究科（博士後期課程）〔仮称〕の設置に関するニーズ調査のお願い（依頼）
- 資料 3 福井県立大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程（仮称・設置構想中）にかかるとアンケート調査について
- 資料 4 福井県立大学大学院健康生活科学研究科 博士後期課程（仮称・設置構想中） 研究概要
- 資料 5 福井県看護協会からの要望書
- 資料 6 科学技術振興機構の研究者人材データベースによる求人状況

【資料 1】

福井県立大学大学院 健康生活科学研究科博士後期課程（仮称・設置構想中）にかかるアンケート調査について 調査結果

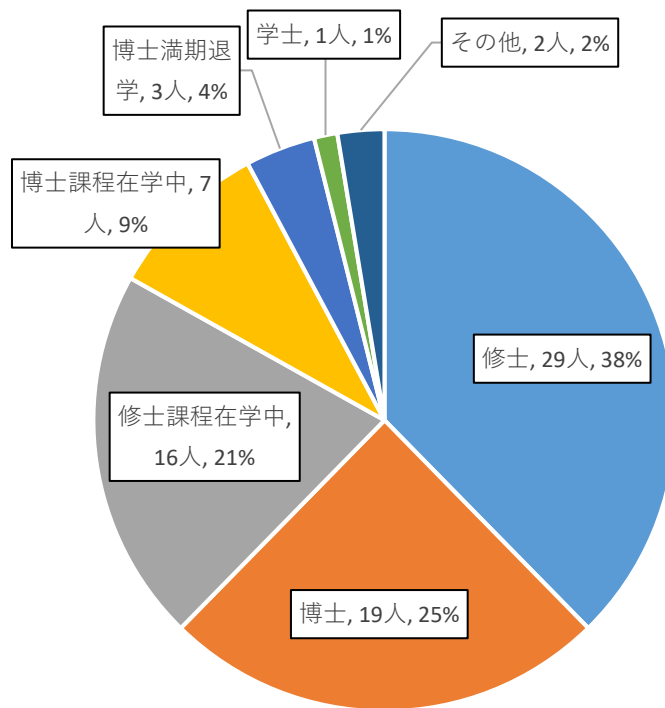
1. あなたのお住まいについておたずねします。次の中から1つお選びください。



1. 住所（n = 77）

	人数	割合
嶺北（福井県）	42	54.5%
嶺南（福井県）	10	13.0%
石川県	11	14.3%
滋賀県	9	11.7%
その他	5	6.5%
合 計	77	100.0%

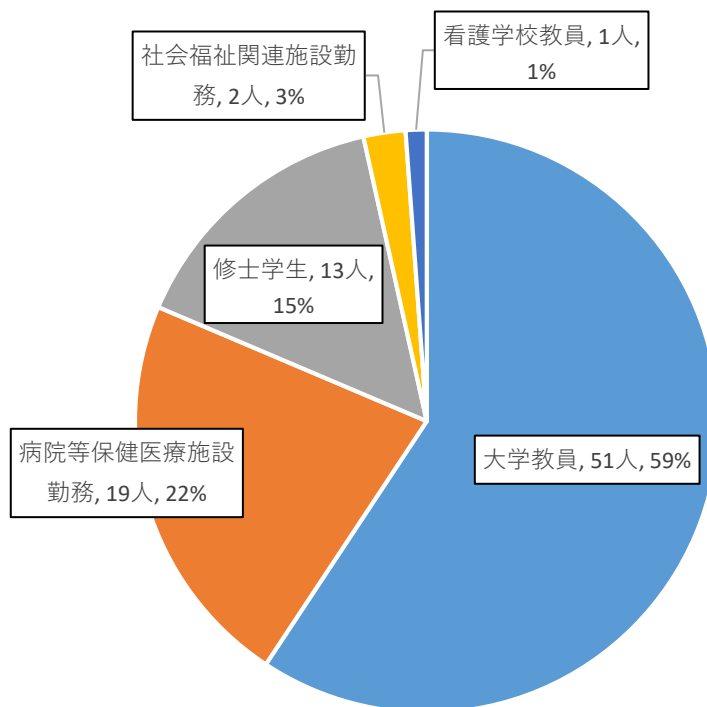
2. あなたの最終学歴、最終取得学位についておたずねします。次の中から1つお選びください。



2. 最終学歴（n = 77）

	人数	割合
修士	29	37.7%
博士	19	24.7%
修士課程在学中	16	20.8%
博士課程在学中	7	9.1%
博士満期退学	3	3.9%
学士	1	1.3%
その他	2	2.6%
合 計	77	100.0%

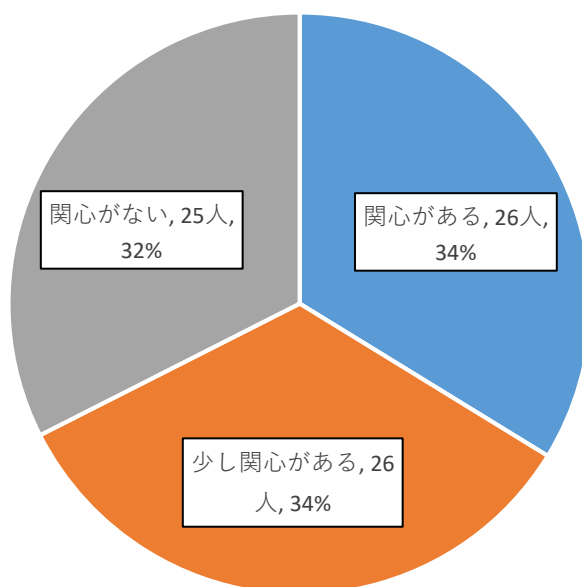
3. あなたの現在についておたずねします。あてはまるものをいくつでもお選びください。（複数回答可）



3. 現在（n = 86）

	人数	割合
大学教員	51	59.3%
病院等保健医療施設勤務	19	22.1%
修士学生	13	15.1%
社会福祉関連施設勤務	2	2.3%
看護学校教員	1	1.2%
合計	86	100.0%

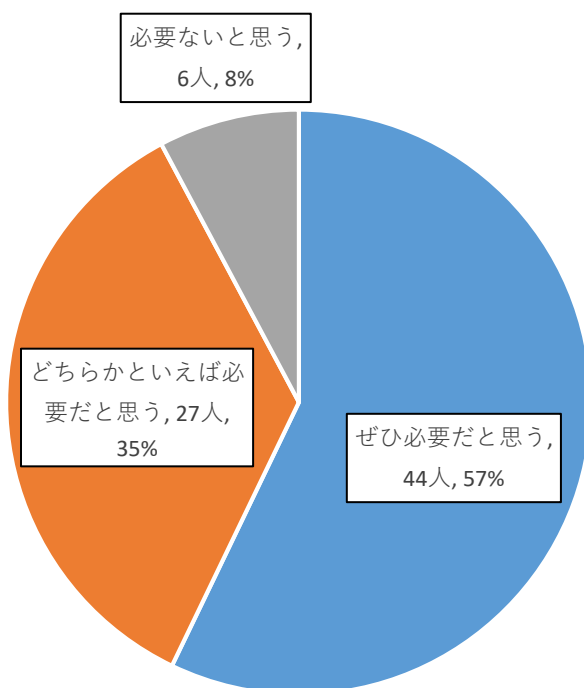
4. 博士後期課程への進学に関心がありますか。次の中から1つお選びください。



4. 博士後期課程への関心（n = 77）

	人数	割合
関心がある	26	33.8%
少し関心がある	26	33.8%
関心がない	25	32.5%
合計	77	100.0%

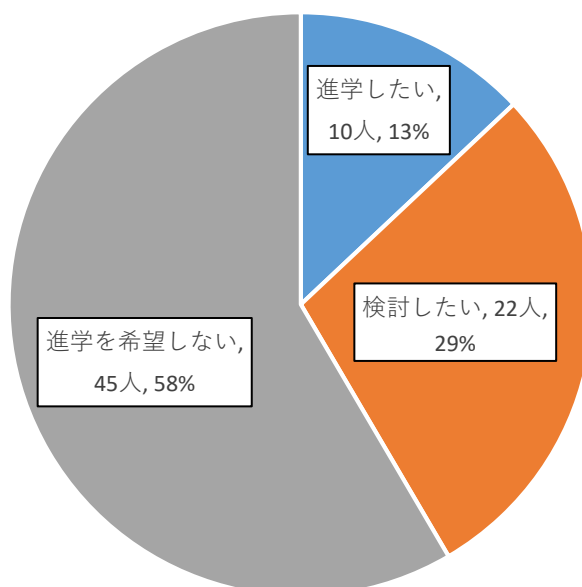
5. 福井県立大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程（以下、「福井県立大学大学院博士後期課程」といいます。）設置の必要性について、次の中から1つお選びください。



5. 設置の必要性（n = 77）

	人数	割合
ぜひ必要だと思う	44	57.1%
どちらかといえば必要だと思う	27	35.1%
必要ないと思う	6	7.8%
合計	77	100.0%

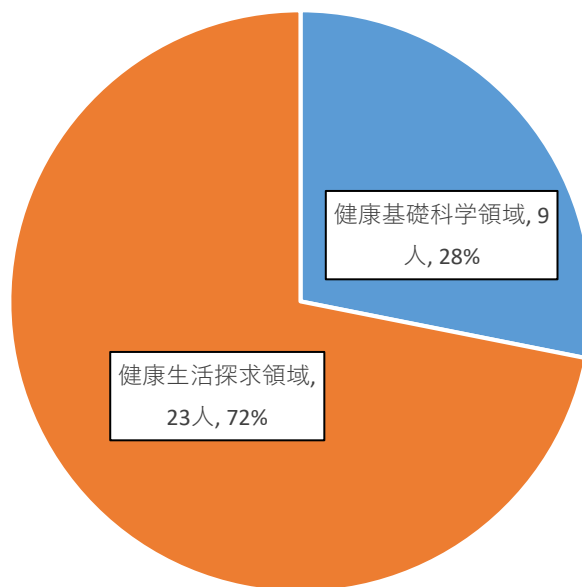
6. 福井県立大学に博士後期課程が開設された場合、進学を希望しますか。



6. 本学研究科への進学希望（n = 77）

	人数	割合
進学したい	10	13.0%
検討したい	22	28.6%
進学を希望しない	45	58.4%
総計	77	100.0%

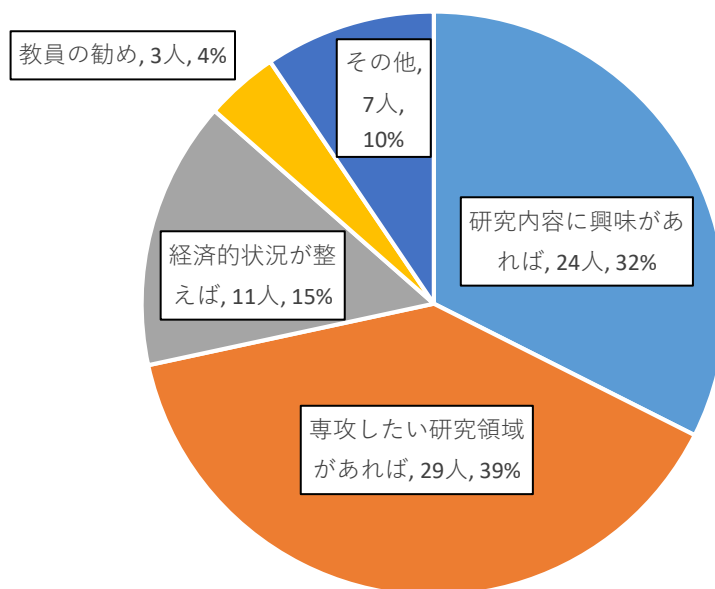
7. 福井県立大学の博士後期課程で専攻したい領域についておたずねします。次の中から1つお選びください。



7. 専攻したい領域 (n = 32)

	人数	割合
健康基礎科学領域	9	28.1%
健康生活探求領域	23	71.9%
合計	32	100.0%

8. どのような条件が整えば本学の博士後期課程への進学を検討しますか。あてはまるものをいくつかでもお選びください。（複数回答可）



8. 進学する条件（n = 74）

	人数	割合
研究内容に興味があれば	24	32.4%
専攻したい研究領域があれば	29	39.2%
経済的状況が整えば	11	14.9%
教員の勧め	3	4.1%
その他	7	9.5%
合計	74	100.0%

9. 福井県立大学博士後期課程について、ご要望やご意見があれば、ご自由にお書きください。

・ 博士後期課程への進学を検討しています。県立大学で開設されれば、大変うれしく思います。医療分野での実務経験を生かして研究ができればと思っています。
・ 福井県に看護の博士後期課程ができるのは喜ばしいことと思います。がんばってください。
・ 福井県内に看護福祉系の博士後期課程は必要と思います。
・ 北陸地方における大学院博士課程として意義深いと感じるため是非設置してほしい。可能であれば海外からの優秀な留学生も受け入れて頂きたいと思う。
・ 博士号を取得し研究業績のある教員が指導教員となることを希望します。
・ 学際的な交流が得られるよう、学会や外部の専門家を招いての討議などの機会が得られるとよい
・ 頑張ってください。
・ 後期課程希望者の研究テーマに応じた教員配置
・ 深い探求能力・研究能力・指導力を併せもった人材の育成を希望します。
・ 前期課程の定員充足度が常に満たされていれば設置されてもいいと思います。
・ 地域に密着した活動のできる研究者を育ててほしいと思います。
・ 地域包括ケアが施策として進められています。官の視点だけでなく、民の立場からの発信を支援する研究を期待します。
・ 働きながら学び続けることへの積極的な支援があると良い

2021 年 1 月 11 日

看護・社会福祉系大学院研究科長・専攻科長 様

福井県立大学大学院看護福祉学研究科

研究科長 米田 誠

(公 印 省 略)

福井県立大学大学院健康生活科学研究科（博士後期課程）〔仮称〕
の設置に関するニーズ調査のお願い（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本学では、現行の大学院修士課程に加え、新たに博士後期課程（健康生活科学専攻〔仮称〕）を設置し、博士（健康生活科学〔仮称〕）学位を取得できる教育課程の開設に向け具体的な準備を進めております。

現在、人々は、様々な健康上の課題（フレイル、生活習慣病、がん、メンタル不調、認知症）や生活上の課題（失業・貧困、虐待・暴力、孤独・孤食、ダブルケア）などに直面し、個人・世帯レベルから家族・自治体、国・都道府県レベルまでのきめ細やか対策が求められています。

新たに設置する博士後期課程では、「健康基礎科学領域」「健康生活探究領域」の2領域を立ち上げる予定となっております。本研究科では、看護学と社会福祉学が融合し、健康から生活までの課題に対して領域横断的に「健康生活科学」研究を行うことで、「ウェル・ビーイング（健康と幸福）に向けた共生社会」を目指し、次のような人材を養成したいと考えております。

ア．健康から生活までの多様な課題を包括的に探究できる自律的・国際的な研究者の養成

イ．基盤となる専門的知識・技術と高い見識を兼ね備え、地域にも貢献できる大学教員や行政担当者の養成

つきましては、貴大学院での本学博士後期課程に関するご意見を直接お聞かせいただきたく、ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、ご協力をお願い申し上げます。

ご協力頂ける場合は、研究科長・専攻科長様に研究科概要とウェブアンケート（PDF）をメールにてお送りしますので、下記事務局担当 富田（j-ttomita@fpu.ac.jp）まで、メールにてご連絡ください。

《本調査についてのお問い合わせ先》

福井県立大学事務局 富田

TEL：0776-61-6000（内 1054）

FAX：0776-61-6011

Mail：j-ttomita@fpu.ac.jp

【資料3】

福井県立大学大学院
健康生活科学研究科博士後期課程（仮称・設置構想中）
にかかるアンケート調査について

福井県立大学は、令和5年（2023年）4月に大学院健康生活科学研究科博士後期課程（仮称・設置構想中）の設置を予定しております。

本学では皆様の率直な御意見をお聞きし、大学院生として広く受け入れたいと考えております。

このアンケートの回答は、設置構想にあたっての統計資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ありません。

ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

調査実施方法：ウェブアンケート

対 象 者：貴大学・大学院の看護・社会福祉・他の医療系（リハビリ等）の教員および
修士生・修士修了生

回 答 方 法：下記QRコードの読み込み又は下記URLからご回答をお願いいたします。

回 答 期 限：令和4年1月28日（金）午後5時まで

所 要 時 間：3分程度

回答用URL（QRコード）

<https://forms.gle/Y7pqnhVuVfd7EnAq9>



福井県立大学大学院健康生活科学研究科健康生活科学専攻博士後期課程（仮称）設置に関するアンケート調査

※本アンケートに関する個人情報は、文部科学省への認可申請にかかる基礎資料以外には使用しません。また、本アンケートでは、個人を特定することもしません。取得した個人情報は紛失や漏洩などが発生しないよう万全な安全対策を実施いたします。

*必須

1. あなたのお住まいについておたずねします。次の中から1つお選びください。*

1つだけマークしてください。

- ☐ 嶺北（福井県）
☐ 嶺南（福井県）
☐ 石川県
☐ 富山県
☐ 岐阜県
☐ 滋賀県
☐ 京都府
☐ その他: _____

2. あなたの最終学歴、最終取得学位についておたずねします。次の中から1つお選びください。*

1つだけマークしてください。

- ☐ 学士
☐ 修士課程在学中
☐ 修士
☐ 博士課程在学中
☐ 博士満期退学
☐ 博士
☐ その他: _____

3. あなたの現在についておたずねします。あてはまるものをいくつでもお選びください。（複数回答可）*

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 大学教員
☐ 修士学生
☐ 病院等保健医療施設勤務
☐ 社会福祉関連施設勤務
☐ 行政職
その他: ☐ _____

4. 博士後期課程への進学に関心がありますか。次の中から1つお選びください。*

1つだけマークしてください。

- ☐ 関心がある
☐ 少し関心がある
☐ 関心がない

5. 福井県立大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程（以下、「福井県立大学大学院博士後期課程」といいます。）設置の必要性について、次の中から1つお選びください。*

1つだけマークしてください。

- ☐ ぜひ必要だと思う
- ☐ どちらかといえば必要だと思う
- ☐ 必要ないと思う

6. 福井県立大学に博士後期課程が開設された場合、進学を希望しますか。*

1つだけマークしてください。

- ☐ 進学したい 質問7にスキップします
- ☐ 検討したい 質問7にスキップします
- ☐ 進学を希望しない 質問8にスキップします

福井県立大学大学院健康生活科学研究科健康生活科学専攻博士後期課程（仮称）設置に関するアンケート調査

7. 福井県立大学の博士後期課程で専攻したい領域についておたずねします。次の中から1つお選びください。*

1つだけマークしてください。

- ☐ 健康基礎科学領域
- ☐ 健康生活探求領域

質問9にスキップします

福井県立大学大学院健康生活科学研究科健康生活科学専攻博士後期課程（仮称）設置に関するアンケート調査

8. どのような条件が整えば本学の博士後期課程への進学を検討しますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。（複数回答可）*

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 研究内容に興味があれば
- ☐ 専攻したい研究領域があれば
- ☐ 経済的状況が整えば
- ☐ 教員の勧め

その他: ☐ _____

質問9にスキップします

福井県立大学大学院健康生活科学研究科健康生活科学専攻博士後期課程（仮称）設置に関するアンケート調査

9. 福井県立大学博士後期課程について、ご要望やご意見があれば、ご自由にお書きください。

セクション5（福井県立大学大学院健康生活科学研究科健康生活科学専攻博士後期課程（仮称）設置に関するアンケート調査）にスキップ

福井県立大学大学院健康生活科学研究科健康生活科学専攻博士後期課程（仮称）設置に関するアンケート調査

送信ボタンを押してください。ご回答ありがとうございました。

福井県立大学大学院健康生活科学研究科
博士後期課程（仮称・設置構想中）概要
令和5年4月開設予定 入学定員3名（予定）
設置構想中であるため、掲載内容は予定であり、変更となる場合があります

社会の多様化、人口減少、超少子高齢化において、人々は様々な健康上の課題や生活上の課題に直面し、個人・世帯レベルから家族・自治体、国・都道府県レベルまでの対策が求められております。

本研究科では、看護学と社会福祉学が融合し、健康から生活までの課題に対して領域横断的に「健康生活科学」研究を行い、「ウェル・ビーイング（健康と幸福）に向けた共生社会」をめざすことにあります。

【設置の趣旨】

修士課程での看護学専攻と社会福祉学専攻の実績を踏まえつつ、「大学の総合力」と「共生社会を支える新たな思想と研究方法の新機軸」を強化してイノベーションをすすめ、よりトータルな「健康生活科学研究科（Health and Human Life Sciences）」の体系化を目的に大学院博士後期課程（健康生活科学専攻）を設置する。

【博士後期課程で育成する人材】

- ①健康から生活までの多様な課題を包括的に探究できる自律的・国際的な＜研究者＞の養成
- ②基盤となる専門的知識・技術と高い見識を兼ね備え、地域にも貢献できる＜大学教員や行政担当者＞の養成

【教育研究領域】

科目区分		授業科目の名称	単位数	
			必修	選択
共通科目		健康生活科学特論	2	
		研究倫理特論	2	
		小計（2科目）	4	
専門科目	健康基礎科学領域	健康科学特論	2	
		看護実践開発演習		4
		健康バイオマーカー演習		4
		小計（3科目）	2	8
	健康生活探究領域	健康福祉学特論	2	
		保健医療福祉演習		4
		地域包括ケア演習		4
		小計（3科目）	2	8
特別研究科目	健康基礎科学領域	健康基礎科学特別研究	6	
		小計（1科目）	6	
	健康生活探究領域	健康生活探究特別研究	6	
		小計（1科目）	6	
合計（10科目）			20	16

【社会人学生への配慮】

勤務しながら学べるように、遠隔授業を積極的に取り入れ、学生の希望状況に応じた授業を開講いたします。

【アクセス】

所在地：〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1

タクシー：JR北陸線「福井駅」より約 20 分

バス：JR福井駅西口バスターミナルから大学病院線に乗車。
「県立大学」バス停で下車。（所要時間約 40 分）

【学費】

入学金	188,000 円（県内者）、282,000 円（県外者）
授業料（年間）	535,800 円

※授業料は、前期・後期で半額ずつ納入

奨学金制度、長期履修制度あり

【競合する大学院】

福井県内において、競合する大学院は無し

要望書

福井県立大学大学院健康生活科学研究科（仮称）博士後期課程設置

近年、少子超高齢化が進展し「病院完結型医療」から「地域完結型医療」に移行する中、人々の健康生活課題は多岐にわたり、多様化・高度化しています。また、福井県は健康長寿県、幸福度日本一として知られており、県民の健康長寿と幸福な生活を支援することは重要な課題です。このような社会環境の変化や福井県の地域特性をふまえ、人々の健康・生活上の課題やニーズに対応し、安全で質の高い看護を提供していくには、福井県の健康課題・生活課題を深く理解し、保健・医療・社会福祉までの横断的なアプローチで、高い水準の専門知識・研究能力、総合的な視点を兼ね備えた大学・大学院教員や医療福祉分野指導者の育成は喫緊の課題になっています。

福井県看護協会では、人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献することを使命とし、近年とくに、訪問看護の充実強化を図っています。「病気や障がいがあっても、住み慣れた家で暮らしたい」「人生の最期を自宅で迎えたい」と望まれる方のニーズに応えるべく、多職種・関連機関と連携し地域で求められる人材の育成・確保に努めています。看護専門職が生涯にわたり学術的・系統的に能力向上を図っていくため、高等教育機関である大学院には大いに期待するところです。

しかし、本県に看護・社会福祉系の大学院博士後期課程はなく、他県に比してその体制は脆弱で、県内の看護専門職・社会福祉専門職からの幅広い学習・研究ニーズに対応できていないといえませんが。

貴学におかれましては、以上のような社会的背景をご賢察のうえ、県民が健康で安心して生活できる地域社会の実現に向け、これからの地域医療を牽引できる看護（保健・医療）と社会福祉の両方の知識・技術を備えた、大学・大学院教員や医療福祉分野指導者を育成できる大学院健康生活科学研究科（仮称）博士後期課程の設置を進めていただければと考えます。

福井県立大学大学院健康生活科学研究科（仮称）博士後期課程が設置されますことを強く要望いたします。

令和4年2月14日

公立大学法人 福井県立大学

学長／副理事長 進士 五十八 様

公益社団法人福井県看護協会
会長 江守 直美



【資料6】

科学技術振興機構の研究者人材データベースによる求人状況

令和4年6月現在

No.	大学名	専門分野	職位			
			教授	准教授	講師	助教
1	徳島大学	助産学				○
		高齢者看護学、がん看護学				○
2	宮崎大学	精神看護学	◎			
3	東京工科大学	基礎看護学				○
		精神看護学				○
		高齢者看護学				○
		成人看護学				○
4	千里金蘭大学	基礎看護学			◎	○
		成人看護学		◎		
		老年看護学			◎	
5	千葉大学	地域創成看護学		◎		
6	茨城キリスト教大学	成熟期看護学	○		○	○
7	九州大学	在宅・公衆衛生・老年看護学				○
8	日本赤十字秋田看護大学	母性看護学				○
		老年看護学		○		
		精神看護学		○		○
9	明治国際医療大学	急性期看護学	◎			
		小児看護学	◎			
		基礎看護学	◎	◎		
10	筑波大学	療養調整看護学		◎		○
11	関西医科大学	在宅看護学				○
12	三重大学	母性看護学・助産学		◎		
		成熟期看護学、成人看護学	◎			
		がん看護学	◎			
13	鹿児島大学	公衆衛生看護学、地域看護学		○		
14	山口県立大学	助産学			○	
15	京都光華女子大学	成人看護学				○
		精神看護学				○
16	兵庫医科大学	老年看護学				○
		在宅看護学				○
17	岡山県立大学	老年看護学・在宅看護学	◎			
		小児看護学	◎			
18	静岡県立大学	老年看護学		◎		○
		成人看護学				○

◎：応募資格に博士の学位

○：応募資格に修士の学位

19	名寄市立大学	老年看護学	○			
20	佐久大学	公衆衛生看護学			○	
21	安田女子大学	精神看護学	◎			
22	京都大学	精神看護学	◎			
		小児看護学	◎			
23	大分大学	成人看護学				○
24	新潟県立看護大学	地域看護学	◎			
		老年看護学	◎			
25	福岡大学	母性看護学				○
		老年看護学	◎			
26	横浜市立大学	精神看護学	◎			
		地域看護学	◎			
27	天理医療大学	地域・在宅看護学	○			○
		基礎看護学	◎			○
		老年看護学	◎			
28	森ノ宮医療大学	公衆衛生看護学	○		○	
		基礎看護学	○			
29	群馬大学	基礎看護学、在宅看護学	○			
30	東都大学	リプロダクティブヘルス看護学、助産学			○	
31	姫路大学	小児看護学	◎		○	
		助産学	◎			
32	岐阜協立大学	老年看護学	◎			
		成人看護学	◎			
		基礎看護学	◎			
33	福岡国際医療福祉大学	統合看護学、成人看護学、老年看護学	◎	○	○	○
34	福島県立医科大学	母性看護学	◎			
		基礎看護学	◎	◎		
		小児看護学		◎		
		母性看護学		◎		
		地域看護学、公衆衛生学		◎		
		成人看護学、老年看護学	◎			
35	国際医療福祉大学	母性看護学	◎		○	○
36	活水女子大学	高齢者看護学		○		
		在宅看護学	○		○	
		基礎看護学		○		
		母性看護学	○			
		公衆衛生看護学	○			
		成人看護学		○	○	
		老年看護学		○		
37	帝京科学大学	基礎看護学		○		

◎：応募資格に博士の学位

○：応募資格に修士の学位

		小児看護学	○			
38	東京女子医科大学	地域看護学		◎		○
		成人看護学			◎	
		老年看護学		◎		◎
39	福井大学	臨床看護学				○
		公衆衛生看護学、在宅看護学		○		
40	熊本保健科学大学	成人看護学			○	
		公衆衛生看護学	○			
41	名古屋女子大学	基礎看護学				○
		成人看護学				○
		老年看護学	○			
		地域・在宅看護学	○	○		○
		精神看護学				○
42	敦賀市立看護大学	在宅看護学				○
		母性看護学	○			
		地域看護学	○			
		小児看護学	○			
43	山梨大学	基礎看護学			◎	
		在宅看護学		◎		
44	東京慈恵会医科大学	基礎看護学	◎			
45	文京学院大学	地域看護学				○
46	鳥取看護大学					○
47	札幌保健医療大学	高齢者看護学			○	
		地域・在宅看護学		○		○
		小児看護学		○		
		精神看護学	○			
48	西南女学院大学	老年看護学				○
		看護学		○		
49	金沢大学	急性期看護学				○
50	共立女子大学	精神看護学		○		
51	東京医科大学	国際看護学			○	
		基礎看護学			○	
		老人看護学	◎			
52	人間総合科学大学	基礎看護学、老年看護学	○			
53	神奈川工科大学	基礎看護学			○	
		成人看護学	○			
54	四国大学	公衆衛生看護学	◎			
55	中部大学	老年看護学	◎			
		地域保健看護学		○		
		精神看護学				○
56	名古屋市立大学	高齢者看護学	◎			
57	三育学院大学	成人看護学				○
		基礎看護学				○
58	岩手県立大学	地域看護学				○

◎：応募資格に博士の学位

○：応募資格に修士の学位

59	埼玉県立大学	小児看護学	◎			
60	秋田大学	基礎看護学	◎			
61	福岡女学院看護大学	基礎看護学				○
62	福井県立大学	老年看護学		◎		
63	岐阜聖徳学園大学	精神看護学	◎		○	
		成人看護学			○	
		基礎看護学		○		
64	東京都立大学	看護管理学、国際看護学	◎			○
65	清泉女学院大学	地域看護学	◎			
		成人看護学	◎			
66	獨協医科大学	老年看護学	◎			
67	兵庫大学	生涯発達看護学	◎			
		地域看護学	◎			
		在宅看護学	◎			
		エンドオブライフケア看護学	◎			
68	公立小松大学	成人看護学	◎	○		○
69	大阪青山大学	母性看護学				○
		老年看護学			○	
		成人看護学		○		
70	東北文化学園大学	公衆衛生看護学		○		
		成人看護学		○		
71	香川県立保健医療大学	小児看護学	◎			
72	宇部フロンティア大学	母性看護学				○
		小児看護学			○	
		基礎看護学			○	
73	八戸学院大学	公衆衛生看護学	◎			
74	聖隷クリストファー大学	老年看護学		◎		○
75	高知大学	臨床看護学			○	
76	名桜大学	基礎看護学		○		
		母性看護学				○
		地域看護学			○	
		精神看護学	◎			
		高齢者・在宅看護		○		
		小児看護学		○		
77	昭和大学	老年看護学			◎	
		母性看護学			◎	
78	目白大学	老年看護学				○
79	豊橋創造大学	母性看護学、助産学		○		
		在宅看護学			○	
		成人看護学		○	○	
80	中京学院大学	成人看護学				○
81	第一薬科大学	母性看護学、助産学		○		
		成人看護学		○		
82	聖泉大学	精神看護学		○		

◎：応募資格に博士の学位

○：応募資格に修士の学位

83	東京医療保健大学	基礎看護学		○		
84	聖路加国際大学	基礎看護・看護技術学	◎			
85	甲南女子大学	助産学		◎		
		看護管理学	◎			
86	弘前大学	精神看護学		◎		
87	埼玉医科大学	基礎看護学				○
		老年看護学	○			
		小児看護学	◎			
		精神看護学			○	
88	梅花女子大学	公衆衛生看護学			○	
		小児看護学	◎			
89	名古屋大学	公衆衛生看護学		◎		
90	創価大学	基盤看護学	◎			
		健康生活看護学	◎			
91	宮城大学	看護管理学				○
		小児看護学				○
		母性看護学				○
		基礎看護学	◎			
		老年看護学	○			
92	日本医療科学大学	高齢者看護学		○		
		精神看護学		○		
		基礎看護学		○		
		在宅看護学		○		
93	金沢医科大学	公衆衛生看護学		○		
94	帝京大学	基礎看護学				○
		地域・公衆衛生看護学		○		
		成人看護学			○	○
95	久留米大学	基礎看護学				○
96	西九州大学	精神看護学	○			
		基礎看護学	○			
97	聖カタリナ大学	老年看護学		○		
		基礎看護学	○			
98	東京家政大学	在宅看護学				○
		小児看護学				○
		公衆衛生看護学			○	
99	桐生大学	基礎看護学			○	
100	岐阜大学	地域看護学				○
		基礎看護学				○
		成人看護学	◎			
101	亀田医療大学	在宅看護学		○		
102	高知県立大学	母性看護学、助産看護学				○
		急性期看護学、クリティカルケア看護学		◎		
		総合看護学、がん看護学		◎		
103	松蔭大学	成人看護学				○

◎：応募資格に博士の学位

○：応募資格に修士の学位

		老年看護学				○
		在宅看護学				○
		リプロダクティブヘルス看護学	○			
104	宝塚大学	精神看護学		○		
		在宅看護学	○		○	
105	奈良県立医科大学	基礎看護学		◎		

◎：応募資格に博士の学位

○：応募資格に修士の学位